

## 東日本大震災支援活動の概要

認定 NPO 法人 市民活動センター神戸 (以下、KEC) では、1995 年の阪神・淡路大震災の際の経験と、日常の活動で培った NPO のネットワーク、NPO・市民活動支援のノウハウを活かし、3 月 11 日の大震災直後から、東日本大震災の被災地支援のための活動を始めています。

KEC としては、主な被災 3 県のうち 原発問題を抱えて先が見通せず、しかも外部からの支援が乏しい福島県を重点支援先と定め、長期的に関わる支援活動を開始、6 月 20 日より当会スタッフを 1 名、現地パートナー団体に派遣、支援活動をサポートすると共に、兵庫と福島をつなぐべく活動しています。 また、震災直後からスタートしました緊急募金「被災地 NPO 応援基金」より、第一次助成として東北の 7 団体に助成金をお届けしました。(→末尾「別紙」)

## 《これまでの活動》

**福島県にスタッフを派遣**

6 月 20 日より約半年間の予定で、当会スタッフの藤本高英を福島県に派遣しました。当会は、本派遣員およびその受入先であるパートナー団体、(特活) うつくしま NPO ネットワーク (以下 UNN、<http://www.utsukushima-npo.jp/>) を軸に福島支援活動を行ってまいります。

現在藤本派遣員は UNN の一員として、次の事業を担当しています。

- 県内の支援者間のネットワークである「ふくしま被災者支援ネットワーク」担当  
毎月 1～2 回開催されるシンポジウム、交流会、学習会等の企画と運営はじめネットワークの事務局を担当。
- 仮設住宅支援のための「がんばろう福島！絆づくり応援事業」  
7 月より開始された全県の仮設住宅での生活支援プロジェクト。阪神・淡路大震災の経験者とのつながりを活かし、その立ち上げ支援にあたっています。
- 「福島＝兵庫ブリッジプロジェクト(仮称)」のコーディネート  
原発問題があり、遠隔地へのさらなる避難も予想されます。被災された方・避難されている方の兵庫県への避難・移住、兵庫の NPO との共同事業コーディネート、ノウハウ移転などを兵庫本部と連携して行います。

藤本派遣員は 6/20 の福島入りからひと月半、ようやく現地事情にも慣れ、仲間にしていただける方々にも恵まれ、だんだんとエンジンがかかってきたようです。活動に関する情報発信にも徐々に力を入れて参りますので、よろしく願いいたします。

なお、この派遣事業につきましては、「被災地 NPO 応援基金」にご寄付いただきました中から、次項 B (当会が直接行う支援活動へのご寄付) を充当させていただきます。

**緊急募金「被災地 NPO 応援基金」** (正式名称:「東日本大震災 被災地の NPO を応援する市民基金」)

2011 年 7 月 30 日現在、**3,896,892 円**のご寄付をお預かりしています。

【ご寄付】 3,896,892 円

(内訳) 東北支援A (被災地のNPOへの支援金として)	1,259,566円
東北支援B (当会が直接行う支援活動へのご寄付として)	704,870円

指定なし

1,932,456円

【切手・金券類】 44,208円分

皆さまのお志に深く感謝申し上げますと共に、引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。  
別紙の通り、第1次助成として7団体に計250万円をお届けしました。

※詳細→末尾の「別紙」に

### **神戸・兵庫でのネットワーク活動**

遠隔の兵庫からも、何か支援をしたいという NPO・市民は数多く、その間の調整と情報交換のために、下記の活動を行っています。

- 「東日本大震災・被災地を応援するひょうご NPO ネットワーク」

3/20 被災地を応援するひょうごの NPO の集会。

その後メーリングリストを設置、約 260 名が活発に情報交換を行っています。

- 「東日本大震災応援ひょうご NPO ネットワーク」(愛称「ご恩返しプロジェクト」)

より実働のプロジェクトとして上記ネットワークを設置、「福島プロジェクト」(担当=KEC)、  
「岩手プロジェクト」(担当=シーズ加古川)が動き始めています。

【各プロジェクトの概要・進捗を追記?】

3/24 第1回プロジェクト会議

4/7 第2回プロジェクト会議 (兼、放射能に関する学習会)

4/26 第3回プロジェクト会議

5/10 第4回プロジェクト会議

6/1 第5回プロジェクト会議

7/6 第6回プロジェクト会議

(第7回プロジェクト会議は8月5日に開催予定。UNN事務局長の鈴木様をお迎えし、UNNで活動中の藤本高英より活動報告を行います)。

### **現地視察および支援内容に関する現地協議**

- 第1次 (2011/4/2-4)

宮城・福島両県で現地の NPO 等から話を伺い、被災現地を視察。

宮城 せんだい・みやぎ NPO センター、杜の伝言板ゆるる、宮城県災害ボランティアセンター (VC)  
(視察) 石巻市内

福島 ハートネットふくしま、福島県災害 VC、福島大学避難所 (鈴木典夫教授)、  
江名小学校避難所 (いわき市)、茨城 NPO センター・コモンズ (いわき市)

この時期はまだ交通アクセスが悪く、山形空港から入ってレンタカーを借り、山形ー宮城 (仙台市、石巻市)ー福島市ーいわき市と移動、最後は茨城 NPO センター・コモンズ横田事務局長と合流して水戸まで。

先に入った宮城で被害の大きさを目の当たりにし (石巻市、仙台市沿岸部)、現地中間支援 NPO へのサポートを考えたが、次に見た福島のあまりの厳しさと、原発問題を抱えて先を見通せず、また支援者が他県に比べて圧倒的に少ない福島状況を見て、当会としては福島支援に注力すべきと考えた。

○第2次 (2011/4/10-15)

支援先を福島と絞って現地カウンターパートを定めるために再度福島入り。

郡山 ハートネットふくしま (ビッグパレット避難所等)、中越復興市民会議 (稲垣氏)

福島 ふくしま県民活動支援センター、福島県災害 VC、市民公益活動パートナーズ、  
福島市市民活動サポートセンター／ふくしま NPO ネットワークセンター

相双 南相馬市市民活動サポートセンター

(視察) 飯舘村 (菅野村長、臨時村議会傍聴)、南相馬市、相馬市、新地町

郡山 うつくしま NPO ネットワーク (UNN)

現場で炊き出し等の避難所支援活動をされている団体から、支援団体の支援 (ネットワーク活動、中間支援活動) をされている団体まで多くの支援者に会った。飯舘村を訪問した 4 月 11 日はちょうど政府から「計画的避難地域」指定の話が出た当日で、それを巡って臨時に開催された村議会特別委員会を傍聴。混乱、緊迫する現地の事情を目の当たりにした。

県内で有力なネットワークを持つ UNN を支援先 (カウンターパート) の第一候補と考えたが、この段階ではまだ支援の具体化に至らず。

(行程: 福島空港 in～ (レンタカー) 郡山～福島～飯舘・相馬等～福島～郡山～福島空港 out)

○第3次 (2011/4/22-24)

UNN が運営する「いわき基地」(物資拠点) 訪問と UNN 鈴木事務局長との打ち合わせを主目的に、再度福島を訪問。

いわき いわき市勿来地区災害ボランティアセンター (地元団体に NGO シャプラニール、  
山口県宇部市等が協力して運営)、いわき市社協

(視察) いわき市沿岸部

UNN いわき基地、UNN 鈴木事務局長と打ち合わせ

(行程: 東京から高速バス～いわき市～福島空港 out)

○第4次 (2011/5/6-9)

「ご恩返しプロジェクト」メンバーのシーズ加古川さんが支援しようとしている岩手県をシーズ加古川柏木事務局長らと一緒に回り、その後福島県へ。当会の主目的は福島支援プロジェクトの具体化と、岩手の状況視察。

岩手 五葉基地 (岩手県立大学山本克彦准教授; 気仙郡住田町五葉公民館)

遠野まごころネット (菊池副代表)、遠野まごころ寮 (静岡県ボランティア協会  
鳥羽事務局長)、閉伊川キャンプ場 (宮古市茂市)、S-FARM 渡邊氏 (盛岡市)

(視察) 陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市

福島市 福島県災害 VC、ふくしま県民活動支援センター、福島大学 (鈴木典夫教授)、

郡山市 UNN 鈴木事務局長と打ち合わせ、ハートネットふくしま (吉田代表)

栃木 とちぎボランティアネットワーク (矢野事務局長)

(行程: 大阪伊丹～花巻空港～遠野・五葉～岩手県沿岸部～宮古～盛岡 (泊)～福島～郡山 (泊)  
～栃木県宇都宮市～東京～神戸)

○第5次 (2011/5/26-27)

26 日昼に UNN 鈴木事務局長と面談、スタッフ派遣の話を進める。午後、紹介いただいた(特活)ココネット・ママさん、被災地障がい者センターふくしまさんを訪問。当会が募金した支援金をご活用いただくことに。

郡山市 UNN 鈴木和隆事務局長

(特活)ココネット・ママ 首藤副理事長、鈴木美礼理事

被災地障がい者センターふくしま 白石代表、和田事務局長ほか

(行程：神戸～東京～郡山(泊)～福島空港～伊丹～神戸)

#### ○第6次 (2011/6/3-4)

数日前に派遣するスタッフが確定。彼とともに「新しい公共推進会議・震災支援制度等ワーキンググループ」が主催する現地公開ヒアリングに参加するために郡山へ。終了後、UNN 鈴木事務局長と派遣の詳細について詰め。夜は UNN 役員、東京からの現地支援 NGO メンバーと会食。

郡山市 UNN 鈴木事務局長、佐山富雄監事

CSO ネットワーク黒田氏、日本国際ボランティアセンター谷山氏

(行程：大阪伊丹～福島空港～郡山(泊)～福島空港～伊丹～神戸)

#### ○第7次 (2011/6/19-21)

福島に赴任する藤本は、岩手県にて開催された「全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議」研修を経て6月20日に UNN に着任。

## 《今後の活動》

### \*目的

宮城・岩手両県に比べ、原発問題を抱える福島県は「被災」＋「避難」という複合状況であり、先が見通せない上に被災・避難者の動きも極めて激しいものがあります。「コミュニティを壊してはいけない」というのは阪神・淡路大震災からの大切な教訓ですが、ここでは本当に厳しい状況です。また、外部からの支援の手も、両県とりわけ宮城県に比べると今なお乏しいのが現状です。

このような福島県の状況について、少しでもその全体像（被災・避難者と支援者の両方）を把握し支援団体間の連携体制をつくることは、被災地外から一層の支援を求めるためにも重要です。さらに、市民の立場からあるべき復興について意見を発していくことが今後重要になってくると考えられ、それを可能にする民間の支援団体間のネットワーク構築の応援を主目的にいたします。

### \*概要

この目的を達成するため、被災地の NPO（中間支援組織）と阪神・淡路大震災を経験した兵庫の NPO ネットワークとの間で連携できる体制を作り、当団体が事務局を担当します。活動期間は最低限 2 年以上を想定しています。具体的には、

1. 被災者、避難者の実態把握
2. 被災地（福島県）内の支援団体および地元 NPO の実態把握
3. 被災地（福島県）内の支援団体および地元 NPO のネットワーク構築活動
4. 復旧・復興へ向けた行政への提言活動
5. 被災地外への情報発信活動
6. 主に被災地外からの支援のコーディネート活動
7. 上記を行うために必要な常駐事務局の設置

なお、この活動は 6 以外、被災者・避難者に直接関わる部分は少ないのですが、最終的には全被災・避難者のお役に立てるものと考えています。また、支援のスタンスとしては「現地の人々が主体」を原則とし、側面支援を基本といたします。

## 《KEC と震災支援》

当会は 1995 年 1 月の阪神・淡路大震災を契機に生まれた団体であり、当初は「震災・活動記録室」として震災の記録活動を主テーマとしていました。理事長中田は阪神・淡路大震災直後に現地で支援団体間の連絡調整にあたった「阪神・淡路大震災地元 NGO 救援連絡会議」の事務局長代行を務め、事務局長実吉はその補佐役でした。その後各地の災害において直接の救援活動を行うことはありませんでしたが、今回の震災で決定的に不足しているのはコーディネーション（仲介、調整）機能と調査研究・政策提言であり、日頃それをメインテーマにしている当会として、やれることはかなりあると考えています。

当会は日常的には兵庫県内における NPO 支援活動（中間支援）、ネットワーク活動を主に行っており、阪神・淡路大震災以外に災害救援の活動経験はありません。しかし、被災地を支援したいと願っている兵庫県内の NPO のネットワークを豊富に持っており、全国の NPO 等とのネットワークもあるため、それらを活用し支援活動を行っています。

今回の震災にあたり、3月20日には兵庫県で160名超が集まる「被災地を応援するひょうごNPOネットワーク」を主催、その後それをベースに「東日本大震災応援ひょうごNPOネットワーク」（「ご恩返しプロジェクト」）をつくり、その事務局を務めています。

## 《KECとは?》

### (1) 人員構成

理事13名 監事2名 正会員76名  
職員 事務局長1名(常勤) ※理事兼務  
事務局長次長1名(常勤) ※理事兼務  
正職員1名  
非常勤職員3名

### (2) 団体代表者：理事長 中田豊一

元・阪神・淡路大震災地元NGO救援連絡会議 事務局長代行(1995年)  
参加型開発研究所 代表(現職)  
認定NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会 代表理事(現職)  
特定非営利活動法人ソムニード 代表理事(現職)

### (3) 所在地：〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通6-7-9 秋毎ビル3F

・電話： 078-367-3336 / FAX：078-367-3337  
・E-mail： office@kobekec.net  
・URL： http://www.kobekec.net/

### (4) 法人格：認定NPO法人(認定特定非営利活動法人)

・設立時期： 2001年3月5日  
(前身「震災・活動記録室」1995年3月～、任意団体「市民活動センター神戸」1999年9月～)  
・直近年度の総収入額： 20,698,124円 ※2009年度(2009.7.1～2010.6.30)  
・直近年度の寄付収入額： 1,660,419円

### (5) 設立目的と活動内容

本会は、兵庫県を中心とする地域において、個人および団体の行う市民活動、市民事業を支援するとともに、必要な調査研究、政策提言、啓発活動等を行い、もって阪神・淡路大震災の教訓を生かした地域社会の自律的な発展と市民社会の構築に寄与することを目的とする。

(定款第3条より)

活動内容 (2009年度事業報告書の事業一覧より)

#### A) NPO活動を支える仕組みづくり

- 1.調査研究と政策提言事業
- 2.NPOのための資源開発事業
- 3.情報発信事業

- 4.ネットワーク事業
- B) NPO 支援
- 5.NPO の経営支援事業
- 6.NPO への拠点提供(神戸元町 NPO ポート運営)事業
- 7.その他の事業

(6) 連携している組織：

**【全国】**

東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) (世話団体)  
認定 NPO 法人 日本 NPO センター、(特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会  
(社福)中央共同募金会、(社)日本経済団体連合会、  
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援P)、(特活)レスキューストックヤード

**【福島】** (近隣から福島に入り支援している団体を含む)

(特活)うつくしま NPO ネットワーク (UNN) **【パートナー団体】**  
(特活)ハートネットふくしま、福島県災害ボランティアセンター (福島県社協)  
(特活)ふくしま NPO ネットワークセンター、(特活)市民公益活動パートナーズ  
兵庫県移送サービスネットワーク ※いわき市に拠点を置き支援活動を行っている。  
認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ ※同上  
認定 NPO 法人 シャプラニール=市民による海外協力の会 ※同上  
認定 NPO 法人 とちぎボランティアネットワーク ※栃木からボランティアを継続的に派遣

**【兵庫】**

東日本大震災応援ひょうご NPO ネットワーク (「ご恩返しプロジェクト」)  
(特活)シーズ加古川、(特活)場とつながりの研究センター、(特活)コミュニティリンク  
(特活)生涯学習サポート兵庫、ぽっぽプラン  
(特活)FMわいわい/(特活)たかとりコミュニティセンター、神戸 YWCA  
(特活)西須磨だんらん、ひょうごん福祉ネット、トモニプロジェクト、(特活)ポプリ  
神戸復興塾/(特活)神戸まちづくり研究所  
(社福)兵庫県社会福祉協議会/ひょうごボランタリープラザ  
(社福)神戸市中央区社会福祉協議会  
兵庫県、神戸市 ほか

市民活動センター神戸（KEC）／「被災地NPO応援基金」

## 第1次助成対象団体について

いつもご支援をありがとうございます。KECでは東日本大震災の発生以来、A) 現地NPOへの支援金（助成金）給付、B) 兵庫からの支援活動、を進めて参りましたが、このうちA) 現地NPOへの支援金（助成金）給付の第1次助成対象団体についてご報告いたします。

KECでは発災後数次にわたり理事・スタッフを現地に派遣し、被災地と兵庫ほか被災地外とをつなぐ支援の方法を探ってまいりました。その現地調査に基づき、第1次助成対象団体として福島県を中心とする7団体に計250万円をお届けすることに決定しました（「指定なし」分を「A」として使わせていただきます）。皆さまの暖かいお気持ちを東北に届けてまいります。ありがとうございました。

○特定非営利活動法人ココネット・マム（福島県郡山市）	50万円
○被災地障がい者センターふくしま（福島県郡山市）	50万円
○特定非営利活動法人ハートネットふくしま（福島県郡山市）	50万円
○一般社団法人ブリッジ・フォー・フクシマ（福島県福島市）	50万円
○特定非営利活動法人茨城 NPO センターコモンズ（茨城県水戸市）	30万円
○特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター（宮城県仙台市）	10万円
○特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる（宮城県仙台市）	10万円
	計250万円

被災地の復興へはまだまだ長い道のりです。KECは原発問題を抱え状況が極めて困難・複雑な「福島県」に支援を集中させてまいります。現地の状況もホームページ等で随時お伝えしてまいりますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

認定NPO法人 市民活動センター神戸（KEC）

〒650-0022 神戸市中央区元町通 6-7-9 秋毎ビル 3F

ホームページ：www.kobekec.net

Tel.070-6546-3336 Fax.078-367-3337 E-mail：relief@kobekec.net

郵便振替口座 01180-5-67581 「特定非営利活動法人 市民活動センター神戸」